

提供日 2017/09/15  
 タイトル 平成29年度「エイジレス・ライフ実践事例」の紹介事例の決定  
 担当 健康福祉部 福祉長寿局長寿政策課  
 連絡先 計画班  
 TEL 054-221-3250



**国の「エイジレス・ライフ実践事例」に決定**

国の「エイジレス・ライフ実践事例」に下田市の村山 秀夫（むらやま ひでお）さんが、決定されました。

1. 概要

内閣府では、既に高齢期を迎え、又はこれから迎えようとする世代の高齢期における生き方の参考に供するため、エイジレス・ライフ実践事例（個人）と社会参加活動事例（グループ）について、全国の事例を紹介しています。県内のエイジレス・ライフ実践事例が紹介されるのは18件目になります。

○エイジレス・ライフ実践事例（個人）

高齢者が、年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由でいきいきとした生活（エイジレス・ライフ）を実践している事例

○社会参加活動事例（グループ）

高齢者の団体等が地域社会活動や世代間交流などの社会参加活動を積極的に行なっている事例

2. 本県の決定事例

【エイジレス・ライフ実践事例】

市町名	実践者の氏名	年齢	活動内容
下田市	村山 秀夫 (むらやま ひでお)	79歳 (昭和12年 12月19日 生)	平成11年に伊豆の他地域で塩づくりをしていることを知り、お隣さんと塩作りを始める。大きな鉄製の平釜に入った海水を薪で4～5日焚き、天日干しをするという伝統的な製法で行っている。作られた天然塩は、下田商工会議所による下田ブランドに認証された商品である。また、子供たちの塩作り見学を受け入れるなど、地域の交流活動にも協力している。

3. 参考

■国の選考方法

都道府県・指定都市及び高齢者関連団体から推薦のあった個人及びグループの事例の中から、内閣府に置かれた選考委員会において選考した。本年度の状況は以下のとおりです。

部門	推薦件数	決定件数
エイジレス・ライフ実践事例	94件	55件
社会参加活動事例	77件	46件

■その他

- (1) 受賞者には、書状及び記念の盾が授与される予定です。
- (2) 内容等については、9月15日を目処に内閣府ホームページに掲載予定です。